

スイカズラ科

イワツクバネウツギ

Zabelia integrifolia (Koidz.) Makino ex Ikuse et S.Kuros.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… VU

■ 県内分布

西播磨

■ 国内分布

本州(中西部)、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○

詳細は非公開

■ 特記事項

西播磨の特殊岩石地のみ知られる。シカの採食による影響を受けている。

■ 保護上の留意点

生育地である岩場環境の保全が重要である。

■ 種の概要

高さ2m以下の落葉低木。山地に点在し、おもに石灰岩地、まれに蛇紋岩地にみられる。密に分枝し、枝には6条の縦溝があり、節部はふくらんで、若枝は赤みを帯びる。葉は対生し、倒卵形、卵形または披針状長橢円形、両面、特に脈上と縁に粗毛が多く、側脈は4-6対。5-6月、若枝の先端の短柄の先に2花をつけ、花柄は長さ3-6mmになり、多くは合着している。花冠は白色で淡紅色を帯び、内面に軟毛が多く、筒部は長さ8-15mm。